



小型分解能光学センサ (SHIROP)



光学センサ (OPS)

JAXA様ホームページに当社社員インタビュー掲載

JAXA様ホームページに、2017年12月にH-II Aロケット37号機で打ち上げられた超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)の開発にかかわった当社社員のインタビューが掲載されました。

<http://www.satnavi.jaxa.jp/project/slats/slats-interview-02.html>

掲載されたのは、「つばめ」に搭載された小型高分解能光学センサ (SHIROP) と光学センサ (OPS) の熱設計を担当した、宇宙防衛事業部 技術部の担当者へのインタビューです。開発における苦労話や明星電気を就職先を選んだ理由、仕事のやりがい、今後の目標など、就職活動中の学生の皆さんにも、明星電気を知っていただく良い機会となっています。

明星電気は、これからも各種開発をととして宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



出展ブース全景

小型衛星シンポジウム: 4S Symposiumに出展

5月28日～6月1日の5日間イタリアのソレントで開催された4S (Small Satellites Systems and Services) Symposiumに出展しました。このシンポジウムは2年毎に欧州にて開催されている小型衛星に関する国際会議であり、小型衛星分野では世界的に最も影響力のある会議です。

当社は超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)に搭載した小型高分解能光学センサ (SHIROP) の試験モデルを展示し、参加者から注目されました。SHIROPは、軌道から地球を撮影する有効開口径20cmの光学望遠鏡で、高分解能画像が取得できます。この出展は、当社の衛星用コンポーネントを海外に展開していく活動の一環です。

これからも当社の技術力をアピールし、世界市場における当社のシェア拡大を目指して活動していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



展示中のPOTEKA (写真中央)

建設技術公開「EE東北'18」に出展

6月6、7日に建設技術公開「EE東北'18」が仙台市の夢メッセみやぎで開催され、当社はIHIグループとして「超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKA」「計測震度計S210」「緊急地震速報受信ユニットQCASTシリーズ」を出展しました。

建設事業における新素材、新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を含め889の技術が集結したこの展示会は、毎年来場者数を増やし、過去最高の16,300人を記録しました。

IHIグループブースにおいても昨年を上回る来場者があり、建設現場で利用例のあるPOTEKA、強い揺れが来る前に推定震度を算出する緊急地震速報受信ユニットS740などに対して、質問やたくさんの貴重なご意見いただきました。

明星電気は、さまざまな場面で安全・安心に貢献できる製品を開発していきます。

(担当: 東北支店、気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。